

2006(平成 18)年 12 月 25 日

全国のプラネタリウム関係の皆さま

日本プラネタリウム協議会
理事 青木良夫
北原政子
菅原 賢

「日本プラネタリウム協議会」正式名称のお知らせ

この冬は暖冬といわれていますが、宵の東の空にはオリオン座が輝き、年の瀬を感じさせる頃となりました。皆さまにおかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

2006 年は日本のプラネタリウム界にとって画期的な年となりました。6 月 1 日に 3 つの会が合流した「新プラネタリウム会(仮称)」が発足し、12 月 4 日には名古屋市科学館で開催された「全国プラネタリウム大会・名古屋 2006」において、新会の正式名称

「^{にほん}日本^{きょうぎかい}プラネタリウム協議会」

が発表されました。英名は、「Japan Planetarium Association」です。

日本プラネタリウム協議会は、プラネタリウム施設・団体、及びそれに関わる個人等が参加する「日本を代表するプラネタリウムの会」です。会員の交流と連携の下に、プラネタリウムの進歩発展を図り、豊かな文化の創造、科学教育及び天文普及に寄与する事を目的としています。本会では下記のような 8 つの活動を行うことにより、それぞれの施設や職員の資質の向上、そして、日本のプラネタリウム界のさらなる発展を目指しています。

- 年 2 回の全国大会(予定)で、全国の施設と交流・連携ができます。
来年度開催館 2007 年 6 月：日立シビックセンター、2008 年 2 月：宗像ユリックス
- プラネタリウムに関する研究発表会や、全国各地で行なわれる、レベルや経験に応じたさまざまな研修会に参加できます。
- メーカーや機種、地域、規模等に応じた多くの分科会を設けます。これは固定した組織ではなく、必要に応じて全国の類似状況の施設との情報交換、連携協力を臨機応変に行っていただけます。
- プラネタリウムに関する調査、研究について、内容や調査費用の両面で補助します。
- 会員向けの機関誌などで、様々な情報を得たり、発信したりする事ができます。研究発表会や機関誌などで発表する事は、プラネタリウムの専門業務としての実績となります。
- インターネットでの情報発信も充実させます。大きな天文現象の際のキャンペーンなども行ないますので、加盟館リストに載る事は、集客増に直結します。
- 国際プラネタリウム協会(IPS)の友好団体(予定)として、NASA、ESA などの教育機関向け映像等の入手も可能です。
- 全国を代表するプラネタリウム組織の会員として、文部科学省、地方自治体や関係団体との連携を進める事ができます。

この機会にぜひ、日本プラネタリウム協議会への加入をご検討ください。新しい仲間と共に日本のプラネタリウムを創造していきましょう。入会案内書と申込書を同封いたしました。なお、日本プラネタリウム協議会のホームページからも申込書がダウンロードできます。

日本プラネタリウム協議会の詳細についてのお問い合わせは下記事務局までご連絡ください。

日本プラネタリウム協議会・事務局 (担当：宗政)
〒425-0052 静岡県焼津市田尻2968-1
ディスカバリーパーク焼津 内
TEL:054(625)0800 FAX:054(625)1997
ホームページ：<http://shin-pla.info/>
Eメール：join@shin-pla.info
(※極力電子メールをご利用いただければ幸いです)